

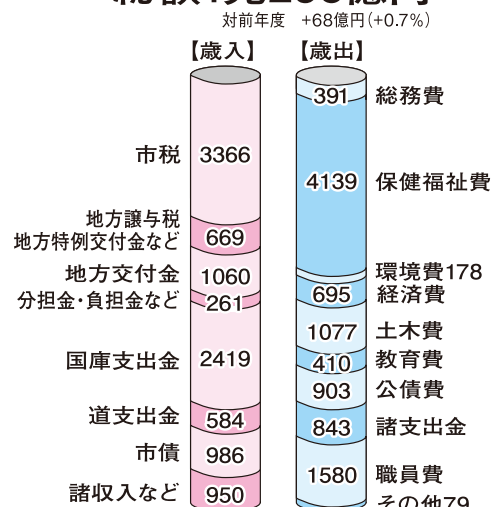
防災・子育て支援などに配分 令和2年度札幌市一般会計当初予算案が決定

札幌市は2月3日、令和2年度の予算案を発表し、一般会計の総額は1兆295億円で、7年連続で過去最大となりました。胆振東部地震からの復興を含む防災、子育て支援、都心まちづくりなどに重点配分されました。

令和2年度 一般会計当初予算案の内訳

| | | |
|-------|-----------------------------|-----------|
| 防 災 | 地震で被害を受けた道路（東15丁目屯田通を含む）の復旧 | 25億7200万円 |
| | 地下歩行空間の非常用発電設備整備 | 6億6200万円 |
| まちづくり | JR苗穂駅周辺の再開発 | 15億7300万円 |
| | 北海道新幹線延伸と駅周辺整備 | 25億6700万円 |
| 子育て支援 | 3歳未満の第2子への保育料無償化の拡大 | 3億400万円 |
| | 児童虐待の増加に対応するための第二児童相談所整備 | 3200万円 |
| | 保育の受け皿拡充・幼稚園一時預かり補助拡充 | 55億1700万円 |
| | 在宅医療・介護連携の推進 | 1700万円 |
| 医療・福祉 | 重度障がい者に対する訪問介護給付の拡充 | 44億500万円 |
| | 高齢者の住宅確保に関する相談窓口運営 | 1300万円 |
| 五輪関連 | 東京五輪・パラリンピックの札幌開催費 | 8億600万円 |
| | 東京五輪マラソンコースの道路補修 | 9億9500万円 |
| | 2030年冬季五輪招致関連費 | 3億 1700万円 |

札幌市一般会計当初予算案 総額1兆295億円



数字は億円、カッコ内は構成比%。金額は1億円未満を、比率は小数点2位をそれぞれ四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

東区に関わる予算内容

- 丘珠空港のバリアフリー化・利用促進 1億4900万円
- 札幌緑小の増築、栄中の改築 市全体で約25億円
- 東15丁目屯田通の舗装整備 4億9100万円
- 伏古市営住宅建設費(105戸) 総事業費約30億円
- モエレ沼公園硬式野球場整備 総事業費約23億円

鈴木 健雄のプロフィール

【経歴】昭和26年3月、池田町生まれ。本名武元総務長官、箕輪登元郵政大臣の秘書を経て、平成7年、札幌市議会議員に初当選(連続当選7回)。平成27年5月、札幌市議会議員に就任 【家族】妻いずみさんと双子の里美・育美さん 【趣味】カメラ、料理、カラオケ(裕次郎が得意?) 【好きな言葉】初心不可忘

【現在の主な役職】

- 札幌市議会日独友好議員連盟会長 ●札幌市調理師団体連合会会長 ●市議会更生保護事業を支援する協議会会長 ●党防衛議員連盟副会長 ●札幌地方ラジオ体操連盟会長 ●札幌市カーリング協会顧問 ●保育関係・看護振興議員連盟各副会長 ●保護司

【議会・党の経歴】

- 第31代札幌市議会議員 ●北海道市議会議員連合会会長 ●市議会自民党議員会会長 ●市議会日韓友好議員連盟会長 ●札幌・石狩地方議員連絡協議会会長 ●北海道後期高齢者医療広域連合協議会議員 ●札幌市議会観光議員連盟会長

札幌市議会議員

すずき健雄政務調査だより

東 区

発行所／すずき健雄政務調査室

〒065-0011 札幌市東区北11条東3丁目4-12
TEL.(011)721-8788 FAX.(011)721-8070
<https://suzuki-kenyu.jp/>
Facebook「鈴木健雄(けんゆう)」

令和2年3月30日(月)発行

⚠「うつらない」「うつさない」ために
3つの密を避けましょう!

- ①換気の悪い密閉空間
- ②多数が集まる密集場所
- ③間近で会話や発声をする密接場面

新型コロナウイルスに関する 企業支援がスタート

札幌市は新型コロナウイルスの影響により厳しい経営環境に置かれている市内の中小企業等に対し、資金調達の円滑化を図るための支援を行っています。

- 札幌市新型コロナウイルス一般電話相談窓口
TEL 011-632-4567(受付時間 毎日9～21時)
- 緊急経営相談窓口(受付時間 9～17時)
- 新型コロナウイルス対応支援資金
(融資限度額1億円、利率年1.0%以内)

問い合わせ先 札幌中小企業支援センター
(中央区北1西2北海道経済センタービル2階)
TEL 011-200-5511



「ぬくもりある東区・札幌」へ
安全・安心を取り戻す!

札幌市議会議員【東区】

けん ゆう
すずき 健雄

ごあいさつ

平素より私の活動に對しましてご理解を賜り、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルスが今、私たちの日常にパニックをもたらしています。最近になってほんの少しずつ正体がわかり始めてきた人類になじみのない新型コロナウイルスは、私たちの日常をすっかり変えてしまいました。札幌の街のにぎわいの主役のようだった中国をはじめとする外国人観光客が姿を消しました。観光業や飲食店の予約のキャンセルが相次ぎ事実上閉店しているようなホテルや飲食店。そこに外出自粛やイベント中止などが追い打ちをかけました。観光客ばかりではなく住民の消費需要も急速に落ち込み、多くの企業が苦境に陥っています。経営困難の事業所で働く人、またフリーランスで働く人の中には、現在収入が見込めない人もいます。内定取り消しも出てきています。そうした経済への影響が深刻であるばかりではなく、新型コロナウイルスは私たちの生活の潤いや未来へのゆめを奪うものになりつつあります。

国際オリンピック委員会(IOC)は、ウィルスの世界的な流行を受けて、今夏の東京五輪・パラリンピックを来年7、8月にそれぞれ開催することを決定しました。東京2020大会は日本の魅力を世界に発信するまたとないチャンスだっただけに、今回の決定は大変残念ではありますが、今は冷静に事態の推移を見守ることが必要だと考えています。

スポーツといえば、気の毒なのは高校球児たちです。厳しい練習に耐え予選を勝ち抜き、センバツ出場に大喜びしたのもつかの間、史上初めての中止になったのです。オーバーシュートの起きている欧米では、今を「戦時下にある」ととらえています。グローバル化は皮肉なことにパンデミックを加速しました。私たちを含めて、数知れないほどの地球の住民が、正体の見えない敵と戦っています。医療、介護、保育といった感染のいわば最前線にいる方々には、みずからの健康にも気をつけて頑張ってもらい、研究機関には治療薬や治療法を一日も早く見つけて、日本の科学的な底力を見せていただきたいところです。

感染症防止、克服と同時に進めていかなくてはならないのが経済対策です。政府はかつてない思い切った経済対策をとるといっていますが、迅速できめ細かな対策で、体力のない中小・零細企業、フリーランスなど個人の方々にも手をさし伸べ、事業の継続と雇用や生活を守っていかなくてはなりません。

従来通りの普通の生活ができることの有難みをしみじみと感じます。市民の皆さんの安心・安全を取り戻すため、国・道・市など関係機関が一丸となって一日も早い終息に向けて全力で取り組みます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

札幌市議会議員 **すずき 健雄**